

全国学力・学習状況調査結果を 改善プランに活かすには

本年度の全国学力・学習状況調査結果における全国平均と県平均との比較において、小学校では、全科目で全国平均と同等以上になり、中学校では、全科目で全国平均との差が縮小し、小学校6年時からの差を4科目合計で1ポイント縮めるなど、児童生徒や先生方が積み上げてきた取組の成果が見られました。

各校においても、結果返却を受け、管理職とも相談しながら改善プランを作成いただいていることと思います。そのプランを基に、全職員が一丸となり、児童生徒一人一人が学力を伸長するための取組を推進いただくよう、よろしくお願いいたします。

調査結果の分析における視点の例

- ・ベンチマーク（全国平均）との差に着目し、成果と課題を明確にする。
- ・今年度だけでなく過去の結果と併せて、経年的な変化にも着目する。
- ・つまずきの大きい設問については、誤答分析や児童生徒への聞き取り等を通じて「どのように」「なぜ」間違ったのかを分析する。
- ・県学力・学習状況調査結果を活用し、下学年の調査結果との関係にも着目する。

優先的に取り組むべきこと

- ・ベンチマークとの差が大きな課題 割合、図形
 ※ 短期間での取組の際には、児童生徒が意欲的に学習できるよう成果が出やすい設問を選択することも考えられます。
- ・学校における経年的な課題 文法、割合、関数等
- ・学年を越えて見られる課題 段落構成を考えて書く、数直線等
- ・定着度の低い児童生徒のための個別支援

計画立案の際に取り入れたい視点の例

何を	いつまでに	どこまで	どのように
(上記参考)	<ul style="list-style-type: none"> ・1か月単位 ・2学期中 ・今年度中 ※ 検証方法を明確化することも大切です。	<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標 ・児童生徒の具体的な姿 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善、補充学習、家庭学習等について具体的に記述する。 例 週末課題にWeb評価支援システムのドリルシートを提示し、その中から小テストを実施し、基準点に達するまで類題に取り組ませる。

※ 改善プランに、課題解消への道筋を位置付けましょう。

学校を応援する県教委の取組

- Web評価支援システム** 個や学級につまずきに応じた課題を準備しています。
(東書HP WEBサービスに掲載)
- ふりかえりプリント集** 過去の全国調査問題から、類題等を検索できます。
(H28年度 各校にDVDを配付)
- 授業改善研修会** 文部科学省から講師を招き、授業改善について考えます。
(現在、二次案内にて参加者募集中)

Click!

《晴れの国おかやま》
教育資料

県総合教育センターHP
からその他の教材、
資料がダウンロード
できます。

岡山県マスコット
「おかやまちゃん」